

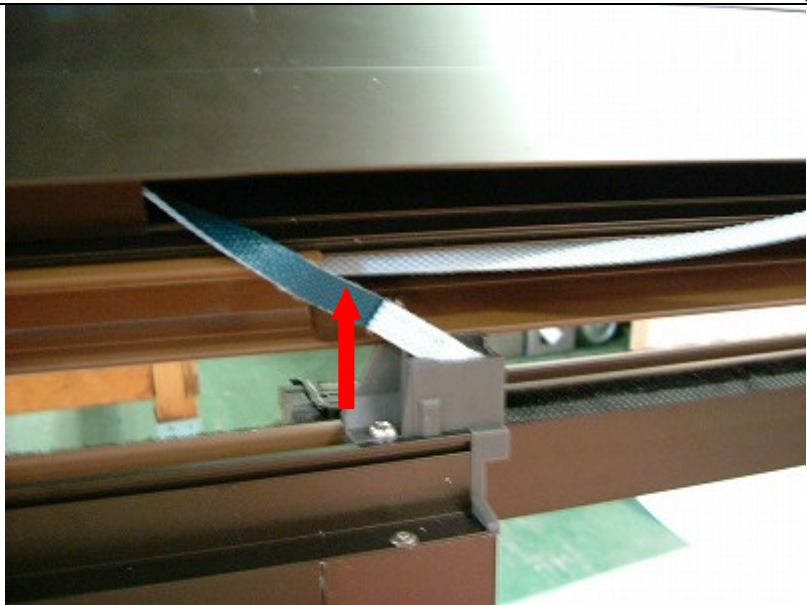
<p>No.1 採風窓部内障子を開けて、 網戸面格子の下側の取り付けねじを 室内側より取り外す。</p> <p>注 ヲベルトが切れている場合、 内障子を任意の位置に静止できないので、 作業中に障子が落下してケガをしないように 注意。</p>	 <p>網戸格子固定ねじ</p> <p>下框</p>
<p>No.2 網戸たて棧の中間部分には、 右の写真のような突起部品がついて おり たて框の角穴に引っ掛けて 取り付けされている。 網戸格子を取り外すときには、 上に持ち上げて取り外しますが、 上げすぎると部品上側の突起に引っ掛かり 抜けないので、上げすぎに注意。</p>	
<p>No.3 たて框側の角穴 ここに網戸固定部品を差込みしている。</p> <p>こののち、障子のガラスを取り外す。</p> <p>室内側のガラスビートを外す</p> <p>押縁 (上、たて) を外す</p> <p>ガラスを外す</p> <p>【ワンポイント】 ガラスを取りはずす際は、 クレセント及びロックをかけて、障子を固定し たほうがよい。</p>	

No. 4

たて框の組立ねじをゆるめて取り外し、
たて框を外す。

組立ねじは、扉厚見込み面に各 2本と
採風障子レール部に各 1本あり
(上下各 3本)
外し忘れに注意。

たて框からでているベルト先端が
障子に連結されているので、
この状態では完全にたて框は
取り外せない。
矢印方向にベルト先端を障子から取り外し、
たて框と障子を分離する。



No. 5

ベルト先端の端子
これが、障子下端の樹脂部品に
差し込み固定されている。



No. 6

たて框の取り外し

今回、戸先側を下にし、立てた状態で
外してみた。



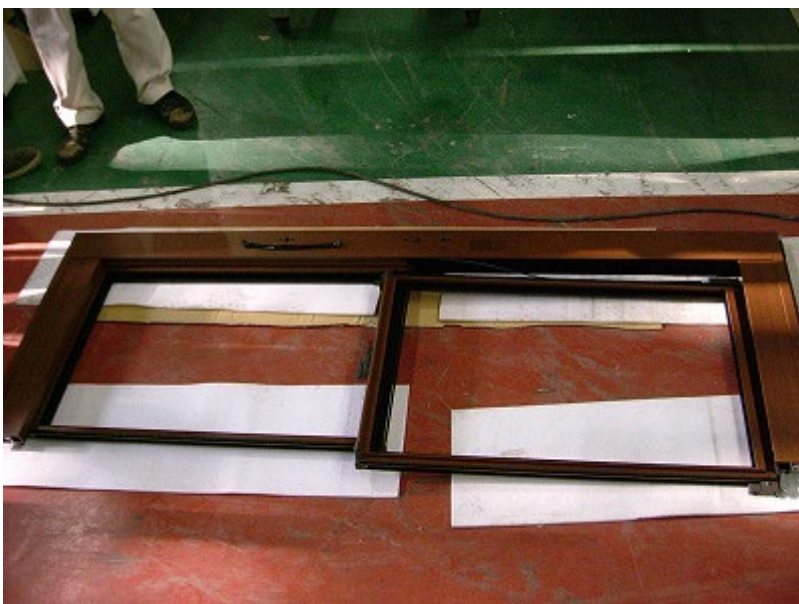
No. 7

しかしながら、障子取り外し作業は、平置きした状態でないと困難。
右の写真は、室外側を下向きに平置きした状態。



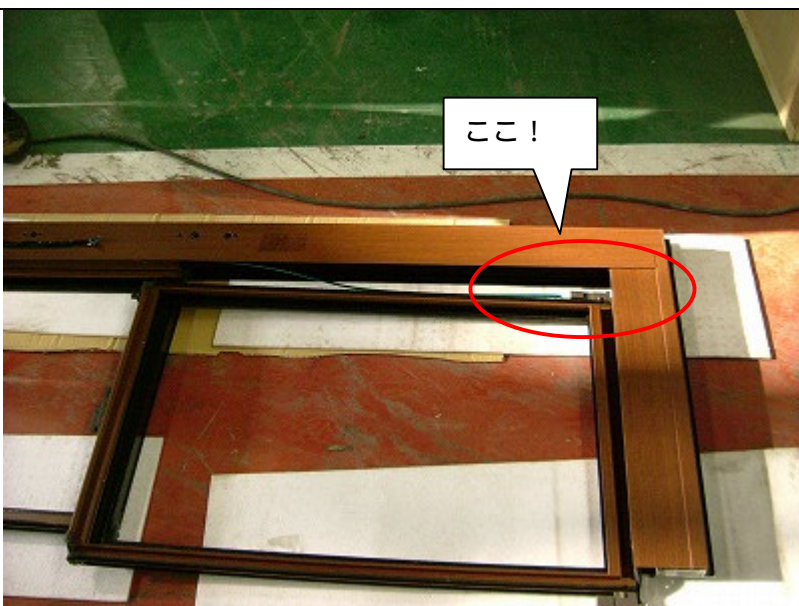
No. 8

内障子の取り外し。



No. 9

ベルトの端子を取り外して、障子を取り外す。



No. 10

外障子も同じ要領。



No. 11

矢印方向にベルト端子を外す。

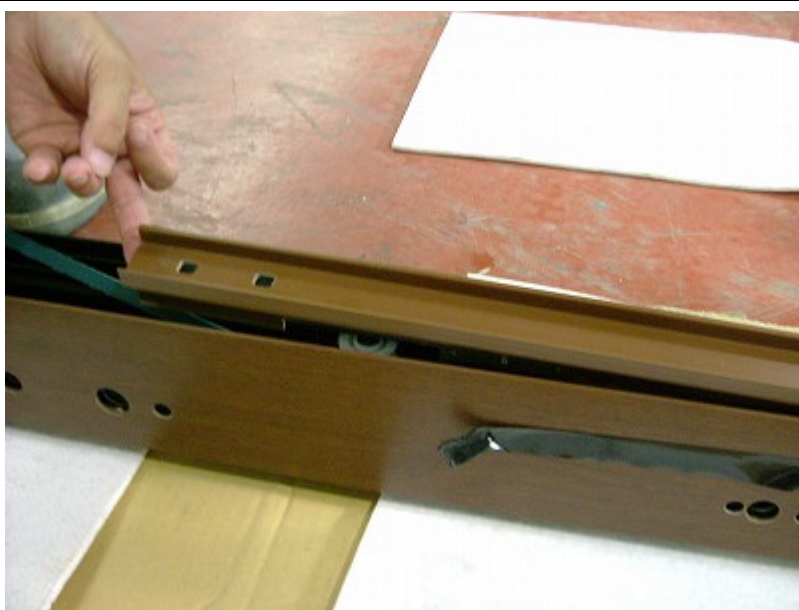


No. 12

たて框の室内側障子レールカバー（樹脂）を取り外す。

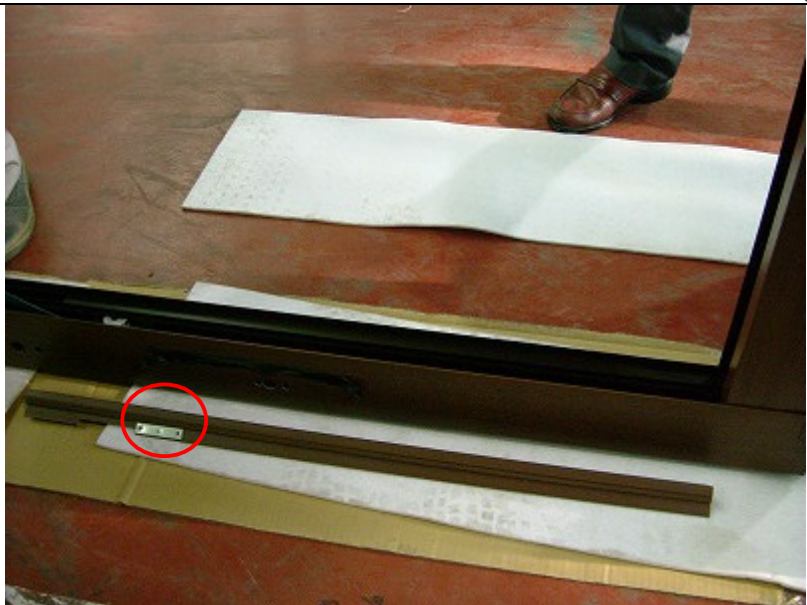
はめ込み取り付けしており
取り外しは容易にできるが、
破損には注意。

アベックス100は、皿タッピン1種ねじにて
ねじ止め取り付けされているので、
ねじをゆるめて取り外し。



No. 13

樹脂レールカバーを取り外したところ。
戸先側樹脂レールカバーには、
補強金具がついている。
(右の丸囲み部)



No. 14

プーリー部品が見えたところ。
たて枠の室外側障子レールカバーは、
アルミ材目板をはめ込み取り付け
となっている。

アックス 70 は、写真に見えるねじ2本と
裏面 (たて枠外側) から1本の、計3本の
ねじでプーリーが取り付けられており
このアルミレールカバーを取り外す必要は
ないが、アックス 100 は、内側から4本のねじ
でプーリーが取り付けられているので、
アルミレールカバーも取り外す必要がある。



No. 15

アックス 100 を想定して、アルミレールカバー
を取り外してみた。
スライドでは取り外せそうに無く、
下端側からこじって取り外してみた。
ドライバー等でキズをつけないよう注意。



No. 16

アルミールカバーの取り外し。
特に問題無く取り外しは出来た。
カバーが変形しないように要注意。



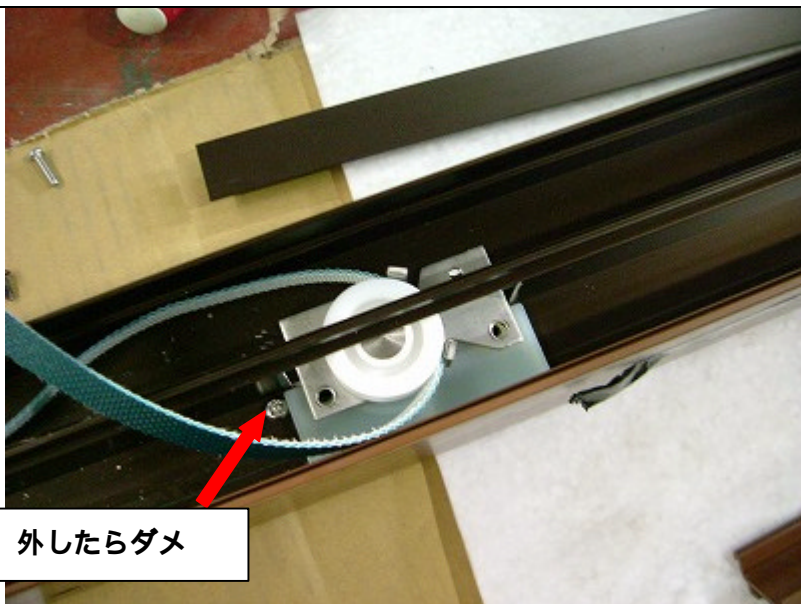
No. 17

プーリーの取り外し。
写真では見えないが、アベックス 70 は、
裏面にも取り付けねじが 1 本あるので取り外すこと。



No. 18

右の写真のいちばん左側のねじは、
裏板取り付けねじなので、取り外さないように
注意の事。
(たて枠内に裏板が落ちてしまう)



外したらダメ

No. 19

プーリー本体とたて框間にはさんである
スペーサー部品をスライドして取り外す。
このスペーサーを外さないと
プーリーが取り外せない。



No. 20

プーリーを回転させながら
たて框切欠き部より取り外す。



No. 21

プーリーを取り外したところ。

新しいプーリーベルトを、
逆の手順でたて框に取り付けする。



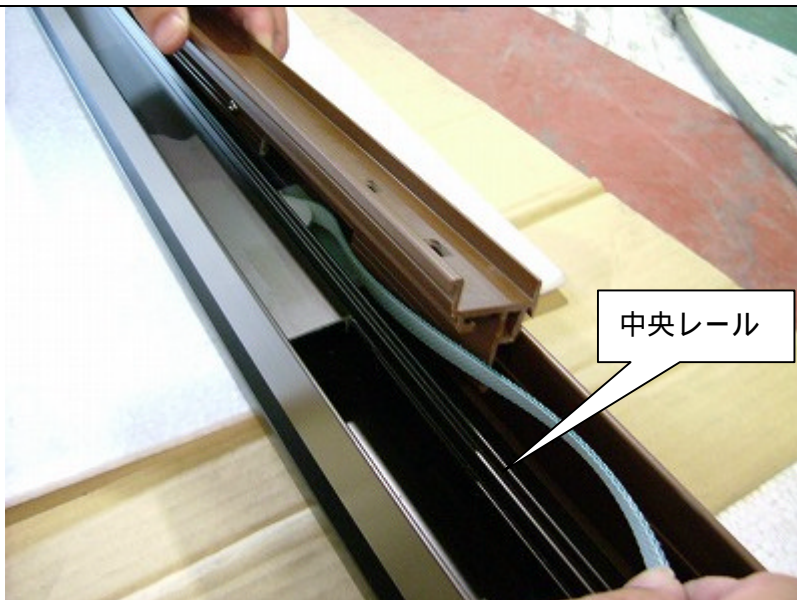
No. 22

アルミレールカバー及び樹脂レールカバーの取り付け。

・アルミレールカバーは、中央レールにある切り起しにあわせて取り付け

・樹脂レールカバーは、中央レール上端と樹脂レールカバー上端がそろうように取り付け

樹脂レールカバー取り付けの際、ベルトがねじれたり、レールカバーの足部分に挟まったりしないように注意のこと。
ベルトは、右の写真の位置に通すこと。



No. 23

右の写真は、NG。

(ベルトが樹脂レールカバーの足部より外側に通っている)



No. 24

上記の状態でカバー取り付けしてしまった状態。NG

ベルトが作動しない。重い。



No. 25

障子組込み。
障子下端部の部品に、ベルト端子を差し込
たて框に組み込む。

【このときのワンポイント】

ベルトがねじれていない事。

・・・手前に有る障子のベルトは緑色面、
奥にある障子ベルトは白色面が見える
のが正常。

(1回転していないか、要注意！)

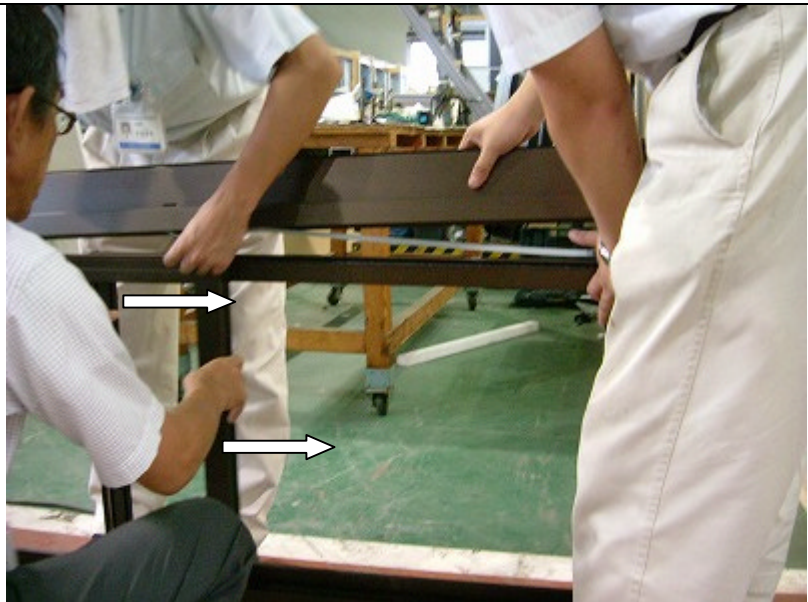
障子の位置は、ある程度開いた状態での
組込みが、ベルト端子をはめ込みやすい。

・・・障子閉じ状態位置だと
外障子側のベルトがレールカバーに
近接する為、はめ込みにくい。



No. 26

たて框の取り付け。
ベルトがねじれないように、
内外障子を同じ方向に押し、
ベルトを張りながらたて框を組み付けする。



No. 27

扉組立まで完了した状態。
ガラス入れ前に、障子作動確認のこと。

このあと

ガラス入れ

押縁取り付け、ピート押え

網戸格子取り付け

の手順で復旧する。

